



防災ボランティアコーディネーター養成講座開催！

2月3日（土）に令和5年度災害ボランティアコーディネーター養成講座を地域福祉センターで開催し、26名の方が受講されました。この講座は、防災、災害時の活動に関心のある、町内に在住する18歳以上の方を対象に全3講座の内容で行いました。

講座①では、三重県防災対策部防災技術指導員の杉永知紀様を講師にお招きし、『三重県で想定される災害と防災体制』として、過去の県内で起こった災害について詳しく教えていただき災害から命をまもるために『自助・共助・公助』についての説明がありました。『自助』とは一人ひとりが自ら取り組むこと『共助』は、地域や身近にいる人どうしと一緒に取り組むこと『公助』は、国や地方公共団体などが取り組むことです。



防災カルタとりの様子

今できる防災対策としての第一歩はまず『自助』の力を身につけていただくことです。ご自身・ご家族で、非常持ち出し袋・備品の確認や、避難場所とルートなど決めておくなどしていくことの大切さをお話していただきました。また、”クロスロード”という災害対応ゲームをグループで行い、災害が起こった時にどう行動したらよいかを考えてもらいました。

講座②は、子育て応援!! 0.1.2.3サークルの山本道子様、岡村純子様を講師にお招きし『今できること！防災への第一歩をふみだしませんか？』として、防災グッズの紹介や作製、防災カルタとり、アルファ米や味噌玉やお汁粉などの防災食の試食を行いました。

便利な防災グッズとして『モーリアンヒートパック』を紹介していただきました。このグッズは、突然の災害の際に火や電気を使わず、加熱調理ができます。使い方は、発熱剤を加熱袋の上に平らに置き、発熱剤の上に食品等を置き、加熱袋の中に定量の水を入れ、加熱袋のチャックを閉めると加熱が始まり、約20分で食材が温まります。

また、非常用トイレの凝

固剤と消臭袋の使い方の実演も行いました。消臭袋が手元にない時は、ポリプロピレンという素材でできたパンの袋などは臭いを通しにくいので、代用できるとのことです。

講座③では、三重県社会福祉協議会の佐藤克哉様より、『災害ボランティアセンターとコーディネーター』と題し、災害ボランティアセンターの機能やコーディネーターの役割として”身近なところからできること”等をお話していただきました。

閉講式では受講者全員に度会町社会福祉協議会会長より『修了書』を贈呈させていただきました。



↑クロスロードゲームの様子
↓ 防災グッズの実演の様子



節分の豆まきを楽しむ♪

老人デイサービスでは1月29日から2月2日までのすべての曜日の利用者さんに毎年恒例の節分行事を楽しんでいただきました。

2月2日は昼食に太巻き寿司やつみれ汁など、節分ゆかりの食べ物が出て、みなさん大変よろこばれていました。

レクリエーションでは、今年も職員が鬼になり体のあちこちに風船をつけ豆の代わりにおじゃみを風船にめがけて投げ、落とすゲー

ムや、ロープで輪を作りその中に風船を集め、おじゃみを投げロープの輪から風船を外へ出すゲームを行いました。みなさんが一斉におじゃみを投げると一度輪の外に出た風船が戻ってきてしまい「あれ、1回外に出たのに又入ってきたな」「なかなか当たらへんわ」とみなさん一生懸命投げていました。輪の外へ風船が全部出ると拍手がおこり「もう1回やらせて」とアンコールがあり、時間いっぱい

～度会町通所介護事業所～

いまで楽しんでいただきました。



鬼にむかっておじゃみを投げる利用者のみなさん



「介護食のバッククッキングで負担を減らそう」

2月16日（金）に度会町保健センター栄養指導室で介護教室が開催され、15名の方が参加されました。

介護教室は、介護者のみなさんが介護に関する知識や技術の勉強会を行ったり、介護者同士の交流を図ることを目的として開催しています。今回は三重県栄養士会より管理栄養士の茂谷順子様をお招きし『介護食のバッククッキングで負担を減らそう』という内容で実施しました。バッククッキングとは、ポリ袋に食材を入れて湯せんで調理する方法のことです。

～介護教室に人が15人が参加～

今回はさんまの炊き込みごはん、かぼちゃの煮物、肉だんご、リンゴのコンポートなどを作りました。下準備をし、湯せんをしている間に食事の大切さや栄養についてのお話をさせていただきました。その後出来上がった食事を試食していただきました。参加者の方から「少量でも調理できるし、洗い物も少なくて助かります」「家に帰ってからでも作ってみます」などのお声をいただきました。

調理の様子



1ヶ月平均 151食をお届けしています!



～ふれあい食事サービス～

度会町社会福祉協議会では、65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯で支援を必要とする方を対象とし、身体や健康上の理由などにより食事を調理する事が困難になられた方へ、栄養バランスのとれた食事をお届けするとともに、安否の確認をさせていただく事を目的とした「ふれあい食事サービス」を行っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和2年の2月を最後にボランティアのみなさんによる調理・配達を中止しておりましたが、令和5年5月より再開し利用者のみなさんに大変喜んでいただいています。ボランティアのみなさんか

らは「食事サービスは、利用者の笑顔を見るのが私たちの活動の源でもあり、元気をもらいます。いつまで続けられるか分かりませんが、自分自身のためにも体力の続く限り頑張りたい」との声も聞かれ、あらためて食事サービスの必要性とボランティアの果たす役割の大きさを感じました。これからも利用者のみなさんにお弁当で笑顔になってもらえるような食事サービスを目指していきたいと思



お弁当の調理をする様子



配達している手づくり弁当



度会町身体障害者陸会様より 車椅子を寄贈していただきました

2月19日(月)に、地域福祉センターにおいて、度会町身体障害者陸会様より車椅子をご寄贈していただきました。

いただいた車椅子は、地域福祉センターにて使わせていただきます。ありがとうございました。

ありがとう
ございました



度会町老人介護者の会 会員募集

度会町老人介護者の会は現在16人の会員が入会しています。介護をしている中で、でてくる悩みや疑問を話したり、同じ経験をしている仲間と交流を深め日頃の疲れや悩み、ストレスを解消しています。年間を通じて、リフレッシュ事業と総会、施設の視察研修などをおこなっています。

年会費：1,000円
(途中入会の場合、月割りになります)

ご自宅や施設などでご家族の介護をされている方ならどなたでも入会することができます♪

【お問い合わせ・お申込み】

度会町社会福祉協議会

☎62-1117 上村まで



義援金募集街頭活動

♡♡♡♡♡ ~度会町ボランティアグループ連絡会~ ♡♡♡♡♡

2月25日(日)に度会町ボランティアグループ連絡会会員10人と社協職員がグッディ度会店で令和6年能登半島地震災害義援金募集街頭活動を行いました。沢山のみなさんが足を止めて募金に協力をしてくださいました。ありがとうございました。集まった義援金は「石川県(石川県令和6年能登半島地震災害義援金)」へ送金いたしました。



義援金総額 59,024円

ありがとう
ございました



度会町ボランティアグループ連絡会様より 災害義援金をお預かりいたしました

令和6年1月1日に発生した『令和6年能登半島地震』により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災地域の方々の安心と安全、そして日常の生活が一日でも早く戻ることを心よりお祈り申し上げます。

このたび、度会町ボランティアグループ連絡会の皆様より、災害義援金として

71,189円をお預かりしました。お預かりした義献金は、「石川県(石川県令和6年能登半島地震災害義援金)」へ送金いたしました。温かいご支援、ご協力ありがとうございました。

度会町社協では、被災者、被災地の復興を支援する為義援金を募集しております。義援金箱を玄関ホールに設置し、平日午前8時30分

から午後5時15分まで受け付けています。皆様の温かいご支援をお願いいたします。



- 2日 食事サービス
- 5日 食事サービス
- 9日 食事サービス

- 12日 食事サービス
- 14日 手をつなぐ親の会総会
- 16日 食事サービス
- 18日 民生委員児童委員定例会
- 19日 食事サービス
- 22日 遺族会 護国神社参拝
- 23日 食事サービス

- 26日 食事サービス
- 30日 食事サービス

